

13121 子ども文化論 Studies in Juvenile Culture		2 年次～ 集中 2 単位	
担当者	黒須 和清	履修可能学科	E Pe Pc 必 C W F
		関 連 資 格	
サブタイトル	子どもたちのためのてづくりおもちゃ学実技		
授業内容 ・ ねらい	おもちゃ＝テレビゲームと思っている子どもたちが増えている現状に危機感を抱きこの授業では、昔の「おもちゃ」（伝承おもちゃ、郷土玩具、駄菓子屋で売られていたチープトイ、グリコのおまけ）のしくみや魅力を検証しリニューアルして子どもたちに伝えて行く技を体得します。手を使って作り、電気の力を借りずに生まれる動きや現象を楽しむ事こそ「おもちゃ」の本道であることを再認識する授業です。		
授業計画	1～4. 伝承おもちゃのリニューアル（かざぐるま、こま、グライダー、けん玉など） 5～8. 郷土玩具やおまけにみられるからくりを手作りおもちゃに生かす 9～12. いろいろな現象、動きからのアプローチ（くるくる、ばたばた、くねくね、ぱくぱく、など） 13～15. 簡単な工作からシアター（演じ物）への展開		
教科書 参考書	教）『たのしいおもちゃ屋さん』（すずき出版） 参）『ひと味ちがうおもちゃのレシピ』（てづくりおもちゃ） 『壁面テーマパーク12か月』（壁面構成） 『かんたん人形劇』『つくってみせるちいさな劇場』（演じ物） 『お菓子なカードのつくりかた』（カード作り）		
評価方法	実際に製作したおもちゃの出来具合とともに「いかに楽しんでとりくんだか」という授業態度も含めて評価します。		
事前準備学習 履修条件等	毎回製作をしますので以下の道具を必ず持参すること。共用や貸し借りは認めません。 はさみ、セロハンテープ、両面テープ、千枚通し（穴をあける道具、キリでも可）、木工用ボンド、カッター、カラーサインペンセット（ブロッキー、ハイマッキー、ボスカなど）		